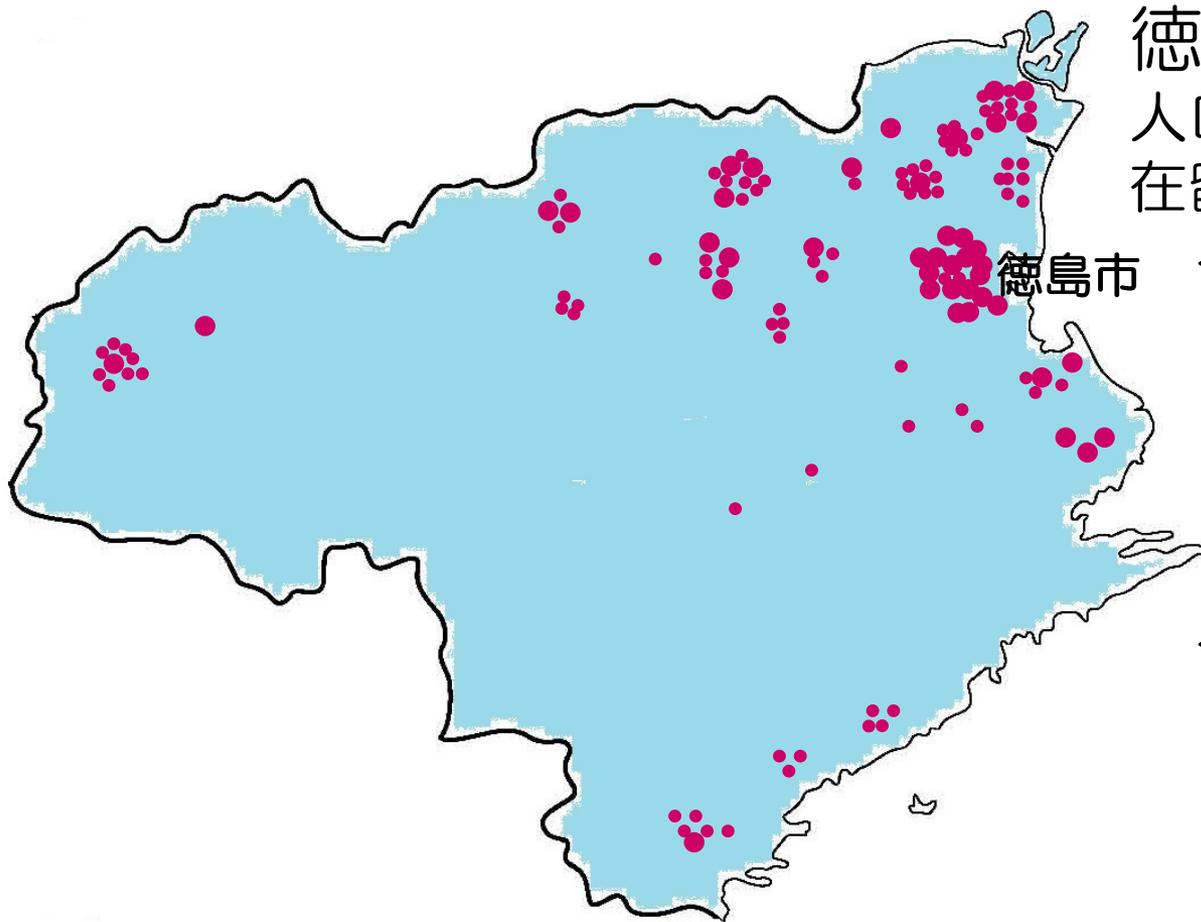


H24年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
親子のための日本語教育プログラム

JTMとくしま日本語ネットワーク
辻 暁子

団体紹介



徳島県（2012年12月末）

人口 774,793人

在留外国人 4,981人

＜国籍上位＞

中国 2,916人

フィリピン 644人

韓国・朝鮮 370人

インドネシア 141人

ベトナム 123人

＜在留目的上位＞

技能実習 2,140人

永住者 1,002人

日本人の配偶者等 402人

留学 320人

特別永住者 239人

団体紹介

「広げよう日本語を 伝えよう徳島から」

日本語教師とそれを目指す人が、日本語学習支援と国際交流活動を通じて、県内在住の外国の方々と共に、楽しく過ごせる地域社会を創造する市民団体。

発足 1997年6月

正会員数 49名
(2013年10月末現在)

主な
支援対象者
⇒

子

徳島県 (2012年12月末)

人口 774,793人
在留外国人 4,981人

<国籍上位>

中国 2,916人
フィリピン 644人

韓国・朝鮮 370人

インドネシア 141人

ベトナム 123人

<在留目的上位>

技能実習 2,140人

永住者 1,002人

日本人の配偶者等 402人

留学 320人

特別永住者 239人

活動紹介

日本語学習支援

- 日本語サロン
- 小中学校での取り出し授業
- 夏休み子ども日本語教室
- にほんご寺子屋

研修

- 月例日本語指導勉強会
- 月例日本語指導部研修会
- 特別研修会
- 日本語指導者養成セミナー

日本語学習指導

- 就職のための日本語講座
- 介護のための日本語講座
- 大学や国際交流協会等主催の日本語クラス
- プライベートレッスン
- 技能実習生日本語研修

交流会

- 俳句交流会
- ポットラックパーティ

教材作成

活動紹介

- 日本語教室の設置・運営
にほんご寺子屋（親教室・子ども教室）
- 日本語教育を行う人材の養成・研修
日本語教育を行う人材の養成セミナー
- 日本語教育のための学習教材の作成
テキスト
『子どもと暮らすためのこんにちはとくしま』
作成

地域の実情と課題・・・子供

- 継続して日本語を学べる場が少ない。
 - 母国ではいろいろなことができたのに・・・。
 - 子供ならではの思いがあるはず。
- 
- 散在地域では、支援を必要とする子供たちが集まって共に日本語を学べる場所が極めて少ない。
- 
- 継続して学べる場所が必要。
 - 同じ境遇の子供たちと出会える場所が必要
 - 子供たち自身が自己アピールできる場所が必要。

地域の実情と課題・・・保護者

「学校の先生と、どうやって話せばいいの？」

「お便りが読めるようになりたい。」

「地域の人との付き合い方がよくわからない。」



- 県内の支援の場は「初級日本語教室」が大半。
- 保護者や生活習慣に特化した支援の場は殆どない。



- 子供達のためにも、保護者の生活の充実が必要。
- 学校教員やまわりの人々と円滑にコミュニケーションをとれる学習が必要。

事業のねらい

親と子が、社会の一員として、文化的かつ自立した生活が送れるよう支援体制の充実をはかる。

- 地域での生活に必要な日本語学習の場を提供する。
- 生活に役立つ学習教材の開発をする。
- 生活に役立つ日本語が指導できる日本語指導者の育成を行う。

連携先

- **徳島県国際交流協会**

情報の周知協力、教室会場の提供、防災出前講座の実施
地元高校生との交流

- **徳島県教育委員会**

情報の周知協力、取組紹介の機会の提供

- **学校**

支援の継続性維持への協力、セミナーへの参加

- **地域国際交流団体**

情報の周知協力

- **徳島大学国際センター**

事業への提言

- **徳島県労働者福祉協議会**

運営本部・運営委員会会場提供

親子のための日本語教育プログラム

- 日本語教室の設置・運営
にほんご寺子屋（親教室・子ども教室）
- 日本語教育を行う人材の養成・研修
日本語教育を行う人材の養成セミナー
- 日本語教育のための学習教材の作成
テキスト
『子どもと暮らすためのこんにちはとくしま』
作成

にほんご寺子屋(親教室)

目標

- 学校教員やまわりの人々と円滑にコミュニケーションができる日本語の指導をする。
- 日本の文化習慣や学校のしくみを理解してもらう。



にほんご寺子屋(親教室)

- 開講期間 : H24年12月~H25年2月
日曜日 13:30~15:00
- 時間数 : 15時間 (1.5時間×10回)
- 学習者 : 中国 (日本人配偶者)、モンゴル (留学生)
- 教室の構成 : 初中級グループ、初級グループ
- 使用教材 : オリジナル教材
『にほんごこれだけ』 (初級グループのみ)
教材作成
『子どもと暮らすための
こんにちはとくしま』
- 託児スタッフ2名配置

にほんご寺子屋(親教室)

ーコマの流れ(初中級グループの例)

① 言葉テスト(前回の授業から)

② 学校情報の提供

③ 会話学習(場面&機能) **カリキュラム案**

④ { お便りの読解練習
日本事情のタスク学習 **カリキュラム案**

⑤ 導入語彙の確認、次回テスト内容の提示

にほんご寺子屋(親教室)

③ 会話学習

01(01)医療機関で治療を受ける

→病院で子どもの病状を伝える

05(08)物品購入・サービスを利用する

→小学校指定店で子どもの体操服を買う 

07(12)徒歩で移動する

→道を尋ねて学校へ行く

14(31)人とつきあう

→誘いを断る・訪問する など

③ 会話学習

Lesson2

2課

か もの 買い物をする

2

（徳島小学校指定店で）

店員：いらっしゃいませ。何をお探ですか。

ソニア：徳島小学校の3年生の夏の体操服と水着が欲しいんですが。

店員：はい、ありますよ。お子さんは男の子ですか、女の子ですか。

ソニア：男の子です。

店員：男の子ですか。大きさはS、M、Lのどれでしょうか。

ソニア：よくわかりません。

店員：じゃ身長はどれくらいでしょうか。

ソニア：私のここ、肩ぐらいます。

店員：それじゃ、Mで大丈夫だと思います。

これが体操服、これが水着です。

ソニア：全部でいくらかですか。

店員：体操服が1,890円、水着が1,680円、両方で、3,570円です。

ソニア：これをお願いします。

店員：もし、合わなかったら取り替えますので、レシートといっしょに持ってきてください。

ソニア：はい、わかりました。

（二日後、同じ店で）

店員：いらっしゃいませ。

ソニア：すみません。おとどい買った子どもの夏の体操服ですが、少し小さいので上の服だけLサイズに取り替えていただきたいんですが……。

店員：はい、結構ですよ。こちらがLサイズです。

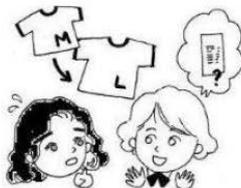
ソニア：お金は……

店員：買った時のレシートはお持ちですか。

ソニア：はい、あります。

店員：じゃ、代金は同じですので結構です。

ソニア：ありがとうございました。



れんしゅう 練習

1. 例1：夏の体操服と水着（は ①）欲しいです。

例2：買った時のレシート（②）がお持ちですか。

1) あの映画（は が）3年前に見ましたが、とてもおもしろかったですよ。

2) 昨日習った漢字（は が）覚えていますが、おとどい習った漢字（は が）忘れられました。

3) 徳島（は が）川（は が）が多いですね。

4) 隣の家に犬（は が）います。その犬（は が）よく鳴きます。

5) この間買った服（は が）あまり好きじゃありません。

2. 例1：もし、合わなかったら取り替えます。（合わない）

例2：もう少し背が高かったら、バスケットの選手になれたのに。（高い）

例3：今度の日曜日、いい天気だったら、眉山に登りましょう。（天気）

1) もし、おもしろい本が _____ 貸してください。（ある）

2) 気分が _____、帰ってもいいですよ。（悪い）

3) もし、_____, 「あきら」という名前をつけましょう。（男の子）

4) もし、あした _____、海へ遊びに行きませんか。（雨じゃない）

5) 国へ _____、誰にいちばん会いたいですか。（帰る）

3. 「結構」について、同じ使い方の文を①と②から選んでください。

①代金は同じですので、お金は結構です。

②結構なお味でした。

1) 十分いただきましたので、もう結構です。（ ）

2) 結構なお酒と食べ物、十分に楽しみました。（ ）

3) これ以上のお気遣いは結構です。（ ）

4) 結構なお品をいただきまして、ありがとうございました。（ ）

4. 例：Lサイズに替えてもらいたい → Lサイズに替えていただきたいんですが…

1) あした休ませてもらいたい→

2) 日本語の作文を見てもらいたい→

3) 寒いので、窓を開けてもらいたい→

4) もう少し席をつめてもらいたい→

にほんご寺子屋(親教室)

④ 日本事情のタスク学習

02(05)災害に備え、対応する

→「地震が起きたら、どうしますか」

15(34)住民としてのマナーを守る

→「家庭のゴミの分け方・出し方」

21(45)郵便・宅配便を利用する

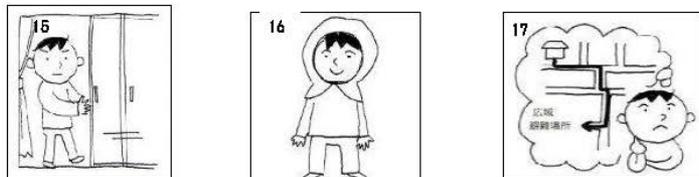
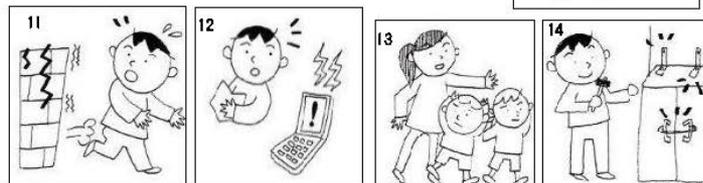
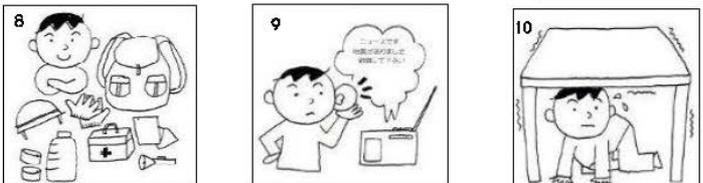
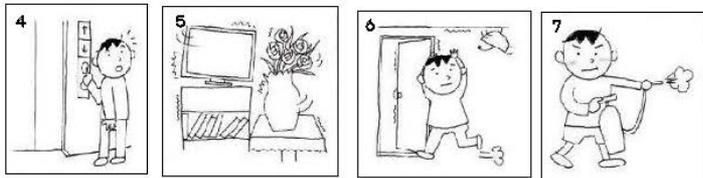
→「郵便局では何ができますか」など

④日本事情のタスク学習

生活を知ろう

地震が起きたら、どうしますか

もし、地震がおきたら、どうしたらいいですか。次の絵について話し合みましょう。



災害や避難に関する言葉・表現

	日本語	英語	中国語	フィリピン語
1	地震	earthquake	地震	lindol
2	震度	intensity of an earthquake	震度	lakas ng intensidad
3	緊急地震速報	emergency earthquake alert system	緊急地震速报	balita (flash news)
4	余震	aftershock	余震	mga pagnginig pagkaraan ng lindol
5	避難	evacuation	避難	lugar na likasan (evacuation)
6	避難経路	evacuation route	避難路径	daang papunta sa lugar na likasan
7	避難所	shelter	避难所	resettlement area
8	避難場所	area for evacuation	避难场所	resettlement area/building
9	津波	tsunami	海啸	tsunami
10	停電	power outage	停电	black out
11	倒壊の危険	in danger of collapsing	倒塌的危险	panganib na pagbagsak
12	防災訓練	emergency drill	防灾训练	pagsasanay sa oras ng kalamidad
13	防災用品	emergency supplies	防灾用品	kailangnang gamit sa oras ng kalamidad
14	防災袋	emergency packs	防灾用品袋	lalagan ng mga kagamitan sa oras ng paglikas
15	薬	medicine	药品	gamot
16	ラジオ	radio	收音机	radyo
17	電池	battery	电池	baterya
18	マスク	mask	口罩	maskara
19	懐中電灯	flashlight	手电筒	plaslays
20	乾パン	hardtack	压缩饼干	biskwit o tinapay na di agad nasisira
21	消火器	fire extinguisher	灭火器	pang apula ng apoy (fire extinguisher)
22	火事	fire	失火, 着火	sunog
23	盗難	property loss	被盜	paganakaw

<多言語のサイト>
 文化庁「日本語学習・生活ハンドブック」のサイト
 (日本語、中国語、朝鮮語、英語、スペイン語、ポルトガル語)
http://www.bunka.go.jp/sokugo_nihongo/kyouiku/handbook/index.htm
 徳島県の防災サイト(日本語のみ)
<http://www.pref.tokushima.jp/bunya/bousai/>

にほんご寺子屋(子ども教室)

目標

- 子供たちがまわりの人とうまくコミュニケーションができる日本語の指導をする。
- 日本や地域の文化習慣を理解してもらう。
- 自身の能力を発揮し自己表現できる場を提供する。

●開講期間 : H24年7月~H25年2月
日曜日13:30~15:00

●時間数 : 45時間(1.5時間×30回)

●学習者 : 小学1年~中学3年

中国、フィリピン、インドネシア、モンゴル、アメリカ

●教室の構成 : 個別学習1時間+全体学習30分

●教材 : 絵カード、パンフレット、『日本語学級』等

にほんご寺子屋(子ども教室)

●教室活動

個別学習

レベルに応じて、生活やまわりの人とのやりとりに必要な日本語を学習する。



全体学習

仲間と一緒に日本文化や習慣などを学んだり、ワークなどを通して自己表現力を高めたりする。



にほんご寺子屋(子ども教室)

体験型

● 課外活動

カリキュラム案

活動① 20(44)余暇を楽しむ
→徳島市立図書館の利用

活動② 02(05)災害に備え、対応する
→徳島県立防災センター見学・体験

にほんご寺子屋(子ども教室)

● 課外活動 図書館の利用

- 図書館の利用についての予備学習をする。
- 借りる手続きをして、本を借りる。
- 図書館のイベントに参加する。



にほんご寺子屋(子ども教室・親教室)

4週目(徳島県立防災センター)

路線バスの利用



体験学習



振り返り・まとめ



07(10)公共交通機関を利用する

防災センター 子どもたちの感想文

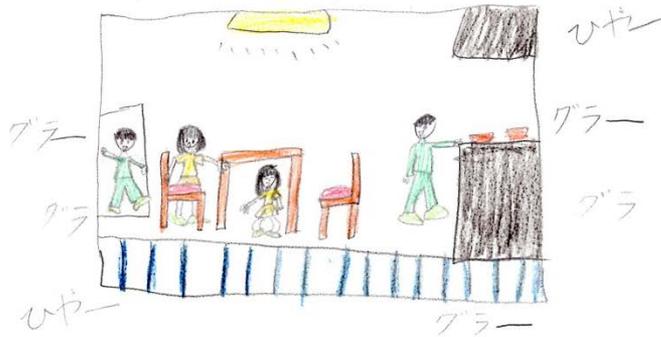
インドネシア 小学4年

にほんご寺子屋（子ども教室）2012.12.2

とくしまけんりつぼうさい けんがく 徳島県立防災センターを見学してわかったことや感じたことを絵や文で書いてね。

名まえ

きょうとくしまけんりつぼうさいセンター（にいらて
じしんたいいけんをしごとくもたのし
かったです。



モンゴル 小学4年

にほんご寺子屋（子ども教室）2012.12.2

とくしまけんりつぼうさい けんがく 徳島県立防災センターを見学してわかったことや感じたことを絵や文で書いてね。

名まえ

はじめの ねる へで ときでさ ばに。 そてわたしは 1 番目 だつたので はじめは すごく こわかつた
時。 1 番 中 からは、あまり こわ ならなかつたです。 次に 消火 しました。 わたしは 2 回 やりました。
1 ちばん さいごの じしん は こわ かつたです。 まが 家 の と、どこ へ に ける か を はなし
あいたいです。 楽しい でした。 おお けい でした。 もし いし が き たら 1 番 に 家 族 を 思っ
て しょう げい 自分 を まも り たい です。 おもしろ かつた です。 まが 机 まで は かく に い たい です。
わたしは 消火 を なら べ かつた です。

インドネシア 中学2年

にほんご寺子屋（子ども教室）2012.12.2

とくしまけんりつぼうさい けんがく 徳島県立防災センターを見学してわかったことや感じたことを絵や文で書いてね。

名まえ

私は地震の5強と7強や消火器を使ったことはありませんでした。地震の体験として
おれりてこわいけどちょっとおもしろかったです。火を体験したときは、道があまり見え
なくてちょっと大変でした。風雨の体験では、風速30メートルをしてとても強くて
いきる感じがちょっと大変です。最後にビデオを見てみんなのしさを勉強しました。
学校でも何回か勉強したけど、このビデオを見てもっとも勉強になりました。
これから地震や火事なのがあったら、今日勉強したことをいきたいと思います！

親子のための日本語教育プログラム

- 日本語教室の設置・運営
にほんご寺子屋（親教室・子ども教室）
- 日本語教育を行う人材の養成・研修
日本語教育を行う人材の養成セミナー
- 日本語教育のための学習教材の作成
テキスト
『子どもと暮らすためのこんにちはとくしま』
作成

日本語教育を行う人材の養成セミナー

目標

- 学習者の母国の文化・習慣を理解することについて考える。
- 日本での生活にスムーズに適應してもらおうための日本語指導の仕方を学ぶ。
- 日本事情の理解を促すスキルを身に着ける。

日本語教育を行う人材の養成セミナー

第1回 日本語教育のための異文化コミュニケーションと
プロジェクトワーク
(徳島大学国際センター ゲールツ三隅友子教授)

第2回 知ろう 考えよう 外国人と暮らす徳島の未来
(帝京大学教育学部教育文化学科 土屋千尋教授)



親子のための日本語教育プログラム

- 日本語教室の設置・運営
にほんご寺子屋（親教室・子ども教室）
- 日本語教育を行う人材の養成・研修
日本語教育を行う人材の養成セミナー
- 日本語教育のための学習教材の作成
テキスト
『子どもと暮らすためのこんにちはとくしま』
作成

教材作成

『子どもと暮らすためのこんにちははとくしま』



H24年度事業の成果

●にほんご寺子屋

- 体験学習から、自分の言葉で自分の思いを表現することができた。
- 保護者が子育てをするうえで、必要とする表現、情報を提供することができた。

●日本語教育を行う人材の養成セミナー

- 外国人の置かれた環境をより理解することができた。
- 保護者に対して必要な支援に気づきを得た。

●教材作成

- 作りながら学習者の声を反映させ、そしてまた学習者に還元できるという相乗効果があった。

今年度の取組

■日本語教室の設置・運営

JTMにほんご教室（大人教室・子ども教室）

■日本語教育を行う人材の養成・研修

日本語指導者養成セミナー

■日本語教育のための学習教材の作成

テキスト

『子どもと暮らすためのこんにちはとくしま』

「お便り」読解の理解を助ける補助教材 作成

今年度の取組

■日本語教室の設置・運営

JTMにほんご教室（大人教室・子ども教室）

美術鑑賞を通して
自分を表現する



公共サービスを利用
して地域を知る



振り返り学習

ひょうたん島クルーズ クイズ

()の橋の名前は何かですか？

□の中から橋の名前を選んで()に、a.~h.を書き込んでください。

a. 三ツ合

三つの橋がひとつになっています。とても珍しい橋です。

b. あいせん

町の名前の「藍場」の「あい」と「船場」の「せん」を合わせて橋の名前がつけられました。

c. 佐古大

平成15年(2003年)に新しくなりました。

d. ふれあい

LEDの光が橋を飾ります。

e. 新町

阿波踊りのとき、とてもにぎやかになります。

f. 助任新

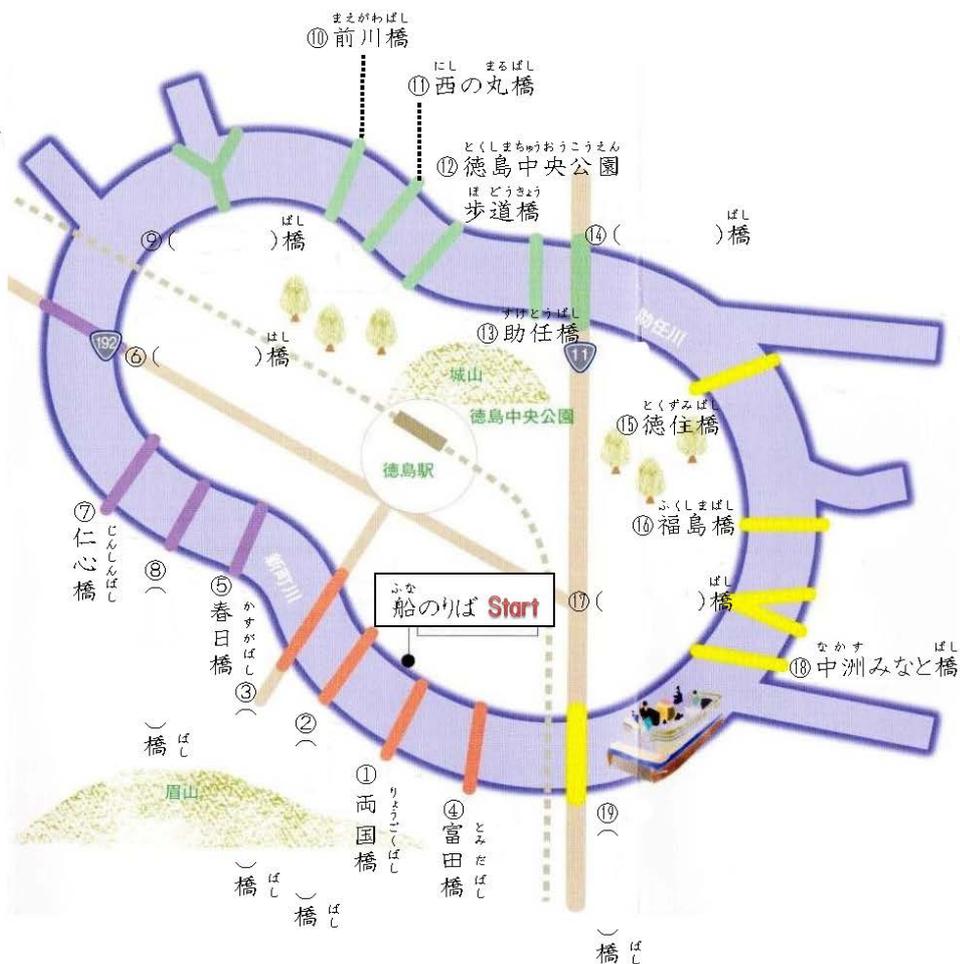
一日に通る車の数は約8万台だそうです。

g. 福島新

二つの橋が並んでいます。

h. かちどき

ヨットがたくさんあります。クリスマスのときは、光がたくさんついて、きれいです。



今年度の取組

■日本語教育を行う人材の養成・研修 日本語指導者養成セミナー

回	テーマ
1	「生活者としての外国人」のための日本語教育がめざすもの
2	「生活者としての外国人」のための日本語教育の実践
3	学習者の発話を引き出す教室活動をめざそう！
4	教材をいかす力を養おう！～『できる日本語』を使って～
5	日本語支援のための異文化理解と外国語としての日本語
6	学習者のレベルや目的に合わせた学習方法
7	「やさしい日本語」を考える～外国人に通じる日本語とは？
8	日本語支援者のための、音声指導の工夫
9	徳島で暮らす外国人のための日本語支援を考える ～JTMとくしまの取組から（その1）
10	徳島で暮らす外国人のための日本語支援を考える ～吉野川市国際交流協会の取組から ～JTMとくしまの取組から（その2）

今後の課題

- 子どもたちの支援は、将来を見据えた取組が重要。
- 職場体験学習などもとり入れた日本語支援を行う。
- 保護者にも理解を促し、保護者自身も充実した生活になるような支援をする。
- 他団体と日本語教育に関する情報・知識を共有していくための働きかけをする。

JTMとくしま日本語ネットワーク



ありがとうございました